

教科	国語	単元名	もののなまえ
----	----	-----	--------

本時のねらい

- ・お店のオーナーになりきって、品物（下位語）を集め、お店の名前（上位語）をつけることで、下位語と上位語のちがいを知ることができる。
- ・お店の名前（上位語）に合う品物（下位語）を集めることで、下位語を上位語に分類することができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・家庭にあるさまざまなものを撮影するなかで、学習を自分事として捉え、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・お店のオーナーになりきって品物を探し撮影すること自体が下位語を分類することであるため、児童にとっては授業の予習となっている。
- ・オクリンクによって、学級の児童全員の品物を簡単に閲覧することが可能で、自分のお店（上位語）にあった下位語を集めることができる。
- ・低学年でもオクリンクを使うことで、簡単に発表のための資料を作ることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ミライシード（オクリンク）
- ・大型モニター
- ・カメラアプリ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の内容をふりかえる。【写真1】 ・めあての確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンク上で前時の板書を保存しておくことで、簡単に前時の内容をふりかえることができる。
めあて 自分の「〇〇屋さん」をみんなにしらせよう！		
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんクイズをつくる。 ・品物（下位語）からお店の名前（上位語）を答えるお店屋さんクイズを行う。【写真2】 ・友だちの答えを参考にしつつ、自分が集めてきた品物（下位語）から、お店の名前（上位語）を書き、カタログを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に家庭で撮影してきた品物（下位語）をオクリンク上でつなげることで、簡単にクイズを作ることができる。 ・品物（下位語）が写真であるため、どんなものなのかをイメージしやすく、お店の名前（上位語）を考えるための支援となる。 ・お店の名前（上位語）をボードに書き、一番前につなげることで共有したときに、どんなお店かがわかりやすい資料となる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・学級全員のカタログを参考に、自分のお店（上位語）に合う品物（下位語）を集める。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンク上に全員の資料が共有されているため、簡単に自分と同じお店（上位語）を考えている児童を探すことができたり、他のお店の品物（下位語）を見ることができたりする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】オクリンク上で前時の板書を映し、今までの学習をふりかえている場面



【写真2】オクリンクを使って、下位語から上位語を答えさせるクイズを行っている場面



【写真3】オクリンクで共有されたカタログを参考に、上位語にあった下位語を考える場面

児童生徒の反応や変容

- ・自分のお店を持つオーナーになりきって学習を進めることで、学校はもちろん、家庭でも意欲的に学習に取り組むことができた。
- ・家庭での品物集めによって、事前に下位語を上位語に分類するトレーニングをしていることになるため、授業でも円滑に分類することができた。
- ・言葉だけでは伝わりにくい下位語も、写真で発表することで理解しやすく、上位語へ分類することが容易であった。
- ・オクリンク上で全員の資料を見られるので、自分のお店の品物を充実させるため、チャイムが鳴っても学習をしたいという児童の姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットを持ち帰ることで、家庭でも学校でも学習を行うことが可能となった。
- ・教科書の中の世界で終わらせるのではなく、自分の身の回りの生活につなげることで、児童たちが自ら学習に取り組むことができた。
- ・タブレットやオクリンクの基本操作は1年生でも可能であり、一度身につくと、簡単に学習活動で活用できる。